



1学期後半は、「学習のまとめ」をするときです。

あなたは何か出来るようになりましたか？ まだ出来ないことはありますか？
残り1ヶ月、あなたの出来ることを増やすために「自分で考えて」取り組んでみましょう！

夏休みが終わり、学校に子供たちが戻ってきました。最初の日、いつもより多くの子が玄関前に並んでいました。玄関に入るときあいさつも元気さややる気を感じました。子供たちが大きな事故もなく登校してくれたことが一番嬉しく、私もいつもより大きな声が出ました。元気に過ごしてくれてありがとう。また、友達や先生方と一緒に楽しい学校を目指して過ごしましょう。

さて、1学期後半は7週間の短い期間ですが、学習のまとめをする大事な期間です。夏休みに向けて各担任から家庭学習や夏休み期間の活用の仕方について話があったと思います。上手に活用できた子もそうでない子も、残り5週間で、自分が何か出来るようになったのか振り返り出来ていないことについて、学習の仕方を工夫して、少しでも出来ることを増やす期間にしていきたいと思います。

外国語活動&外国語授業公開(3年・5年)

夏休み明けすぐの授業でしたが、8/29(金)に文教大学大学院の金森強教授を招聘して、3年外国語活動・5年外国語の授業を公開し、職員研修を行いました。



3年生は、"Do you like ~?"や"I like ~?"表現で自分のことを振り返りながら、答えたり伝えたりする活動を楽しんでいました。

5年生は"Can you ~?"を使ったAETや担任の話聞いて質問に答えたり、英語表現を一緒に考えたりしながら、インタビュー活動に挑戦しました。



5年生と一緒に研修に参加してくださった琉球大学の深澤真教授に、自分からインタビューに行き、相手の顔をみてしっかり聞く姿が複数人見られました。



初めて出会った人に質問に行くのはなかなか勇気がいります。5年生の聞いてみようという意欲と尋ねる時の態度にとっても感心しました。

小学校に5・6年外国語授業が必修化して、今年で6年目を迎えました。コロナ禍もあり、実際にはまだまだこれからという状況ですが、3・4年の外国語活動での「聞く・話す活動」の成果もあり、5・6年生の「聞く力」はかなりついてます。また、話すことへの抵抗感がない子も増えてきています。

小学校外国語は、中学校の外国語の前倒し学習ではないので、話せばOK、聞ければOKではありません。聞く・話すことから自分や相手のことを知り、理解することや、主体的に学習する態度も同時に育てていきます。

同じ英文でも日本語と同じように「言葉」なので、気持ちを込めて話したり伝えたりすることができることや相手意識をもって英語だけでなく言葉を話せるように育てたいと考えます。同時に、国籍に関係なく同じ地球人として向き合えるように、外国の文化やマナー等を知ることで、子供が様々な考える時間になるといいと思っています。

9月は読書月間です 9/1~9/30

校内読書月間

読書は心のごちそうだ

読書月間期間中の目標冊数

1・2年生	15冊
3・4年生	12冊
5・6年生	10冊

今年も校内読書月間が始まっています。本を読むまたは読み聞かせを聞く時間とは・・・

- ①実際に体験できないことを疑似体験できる時間
- ②新しい知識を知る時間

読み聞かせやブックトークでは・・・

- ①自分とは違うまたは同じ感じ方・考え方に出会う
- ②自分では選ばない本に出会う

絶好の機会になります。日頃あまり本を読まない子も、この1か月間は、進んで読書していきましょう。家庭読書タイムを設けて、家族で取り組むのもいいですよ。

今日から「旧盆」 明日9/5は休校

今日はウンケーですね。旧盆の準備で大忙しの週だったことでしょう。明日は旧盆による休校です。沖縄独特の旧盆について、親戚一同が集まる所で話を聞いたり、一緒に体験したりすることは貴重です。「ご先祖様が自分で家に帰ってくる」というのも本土と異なります。盆料理も地域によって異なるようです。是非、大人が教えていただきたいと思ひます。